

# 東北地方 1 か月予報

( 7 月 3 0 日から 8 月 2 9 日までの天候見通し )

平成 2 3 年 7 月 2 9 日  
仙台管区气象台発表

## < 予想される向こう 1 か月の天候 >

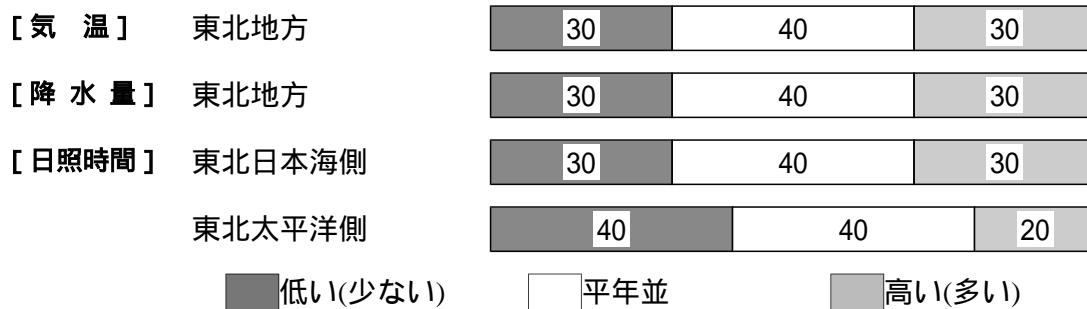
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側は、平年に比べ曇りの日が多い見込みです。

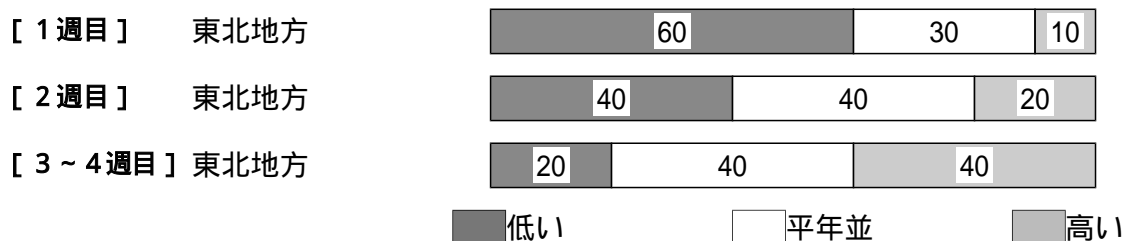
向こう 1 か月の日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに 4 0 % です。

週別の気温は、1 週目は、低い確率 6 0 % です。2 週目は、平年並または低い確率ともに 4 0 % です。3 ~ 4 週目は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。

## < 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 ( % ) >



## < 気温経過の各階級の確率 ( % ) >



## < 予報の対象期間 >

1 か月       :   7 月 3 0 日 ( 土 ) ~   8 月 2 9 日 ( 月 )  
1 週目       :   7 月 3 0 日 ( 土 ) ~   8 月   5 日 ( 金 )  
2 週目       :   8 月   6 日 ( 土 ) ~   8 月 1 2 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目   :   8 月 1 3 日 ( 土 ) ~   8 月 2 6 日 ( 金 )

## < 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日   1 4 時 3 0 分   次回は 8 月 5 日  
3 か月予報 : 8 月 2 5 日 ( 木 )   1 4 時

## < 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温( )		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	23.3	120.3	181.0	23.6	23.7	23.1
深浦	23.2	161.5	180.9	23.4	23.6	23.1
むつ	21.7	139.6	146.6	21.9	22.1	21.6
八戸	22.5	124.4	169.0	22.7	22.9	22.3
秋田	24.9	170.1	193.4	25.1	25.3	24.8
盛岡	23.5	173.1	151.3	23.9	24.0	23.2
大船渡	23.0	176.1	150.4	23.1	23.3	22.9
宮古	22.2	157.8	161.6	22.3	22.5	22.1
仙台	24.2	154.6	145.9	24.3	24.5	24.0
石巻	23.5	105.6	169.0	23.4	23.7	23.4
山形	24.9	139.9	180.0	25.5	25.4	24.6
新庄	24.1	159.3	173.7	24.5	24.6	23.9
酒田	25.4	172.5	210.0	25.6	25.8	25.2
福島	25.4	140.3	153.3	25.9	25.8	25.1
若松	25.1	129.3	200.6	25.6	25.5	24.8
白河	23.6	208.5	147.0	24.0	23.9	23.3
小名浜	24.1	126.6	187.5	23.8	24.2	24.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1981 ～ 2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ～ +0.8	75 ～ 120	88 ～ 112
東北日本海側	-0.6 ～ +0.7	74 ～ 111	91 ～ 114
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.8	73 ～ 120	86 ～ 112

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +1.3	-0.7 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.8
東北日本海側	-0.7 ～ +1.2	-0.6 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.8
東北太平洋側	-0.8 ～ +1.4	-0.7 ～ +1.1	-0.6 ～ +0.8

## < 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ～ 2010 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成23年7月29日 仙台管区气象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（7月30日～8月29日）：

東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ曇りの日が多い見込みです。

向こう1か月の日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目（7月30日～8月5日）：

期間の前半は気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、雨の降るところがあるでしょう。期間の後半は高気圧に覆われて晴れるところが多くなる見込みです。

気温は、低い確率60%です。

2週目（8月6日～8月12日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では湿った気流の影響を受け、平年に比べ曇りの日が多い見込みです。

気温は、平年並または低い確率ともに40%です。

3～4週目（8月13日～8月26日）：

天気は数日の周期で変わるでしょう。残暑が厳しい見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

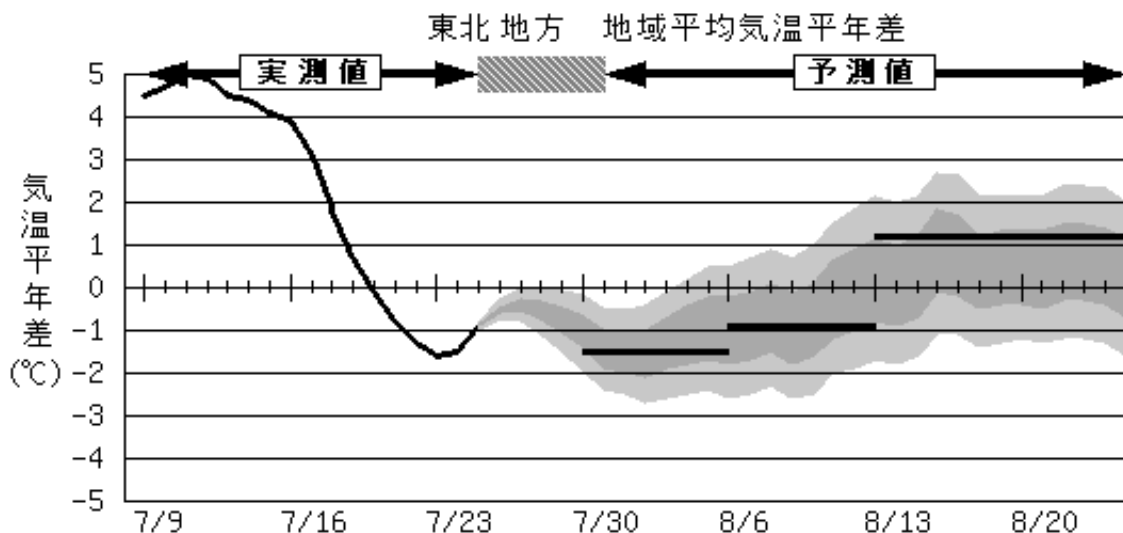
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
14.8	8.3	15.5	8.6	12.7	9.1	11.9	9.2	15.7	8.1	12.9	8.4

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年を下回り、3～4週目は平年を上回る予想となっている。



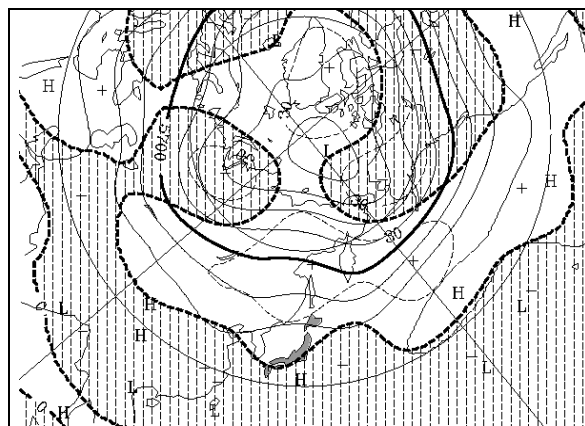
- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

**1か月平均:** オホーツク海付近は気圧の尾根で明瞭な正偏差が見られる。日本付近は弱い正偏差に覆われるが、日本の南海上は負偏差で亜熱帯高気圧の西への張り出しが弱い。安定した夏型の気圧配置が続かず、東北地方は湿った気流の影響を受けやすい見込み。

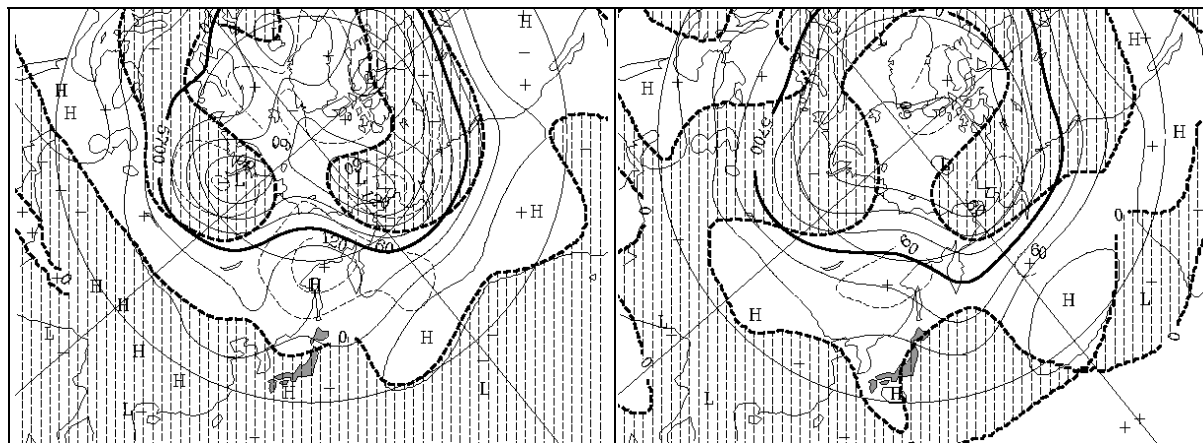
**1週目:** オホーツク海付近は気圧の尾根で明瞭な正偏差、太平洋高気圧は西への張り出しが見られ、東北地方は相対的な気圧の谷となる。オホーツク海付近には高気圧が予想され、東北太平洋側では湿った気流の影響を受け、曇りの日が多い。

**2週目:** 日本海には気圧の尾根、日本の東には気圧の谷があって、北日本は弱い負偏差に覆われる。東北地方は北からの寒気の影響を受ける時期がある。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

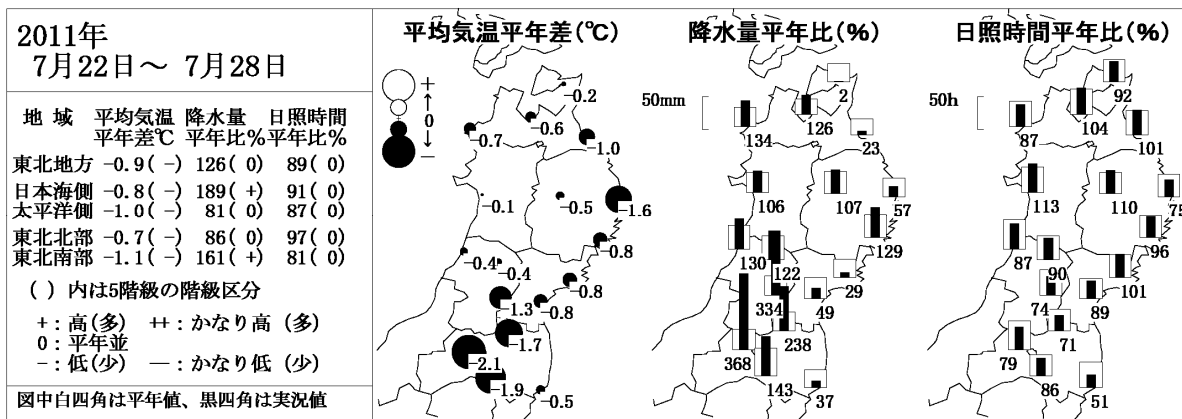
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高線(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

### 4. 最近1週間(7月22日～7月28日)の天候の経過

この期間、太平洋高気圧の張り出しが弱まり、上空の寒気や湿った東風の影響で曇りや雨の日が多かった。期間の前半はオホーツク海高気圧の影響を受けて東北太平洋側を中心に低温となった。期間の後半は前線が東北地方付近に停滞し、寒気を伴った気圧の谷が通過した影響で大気の状態が不安定となり、雷雨となったところが多かった。26日から28日にかけて青森県を除く各県で大雨となったところがあった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北地方で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)